

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (北海道)		商店街（代表者）	販売量の動き	・青果物の出荷が進み始めており、景気は良くなっている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・9月は北海道胆振東部地震と台風の影響で売上が落ち込んだが、景況感自体は良くなっている。
		百貨店（営業販売担当）	来客数の動き	・9月上旬の北海道胆振東部地震による停電の影響で2日間の休業と直後の落ち込みがあったが、その後のイベントでは2週続けて来客数、売上共に前年をクリアした。気温が高めのため、シーズンアイテムの動きが鈍いものの、食品、化粧品、雑貨が好調に推移している。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・客単価が前年を上回っているなか、来客数の減少傾向にも歯止めが掛かり、やや上向きになってきた。
		スーパー（役員）	来客数の動き	・9月は北海道胆振東部地震による今後への不安から、備蓄品などの実消費以外の特殊需要が起きており、来客数が増加している。また、商材不足がみられるなか、価格訴求商材も不足していることで客単価が上昇しており、引き続き売上の良い状態で推移している。
		スーパー（役員）	お客様の様子	・北海道胆振東部地震の影響でカップ麺、レトルト食品、ガスボンベ、電池などのパニック買いが発生した。その後も震災関連商材の買い込みが続いている。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	お客様の様子	・北海道胆振東部地震で初めての地震被災となったが、復旧が早く、最小の被害で済んだ。地震後は臨時休業もあったが、災害特需なのか売上が伸びている。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・9月は北海道胆振東部地震による影響がとても大きく、当店でも丸々2日間、営業ができなかった。また、当地は観光地であるため、北海道胆振東部地震の影響が心配されたが、足元の景気は早期に回復してきており、当店の売上も何とか前年をクリアできた。ただ、震災の影響がまだ色々な方面に色濃く残っているなど、景気に水を差した面がある。
		百貨店（担当者）	来客数の動き	・台風21号や北海道胆振東部地震による休業が来客数、販売量にも影響した。その後の反動増が食料品を中心にみられたものの、休業による落ち込み分をカバーするまでには至っていない。
		百貨店（役員）	それ以外	・北海道胆振東部地震と停電という特殊要因があり、一時的に下向きになったが、徐々に回復している。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・道路工事により当店裏側の通路が塞がっている状態が2年ほど続いている。そのことに対する客からのクレームも日々みられており、来客数に影響が生じている。
		スーパー（企画担当）	お客様の様子	・9月については、北海道胆振東部地震の影響で丸2日間営業できなかったが、営業再開後はコンビニの正常化が遅延していたこともあり、驚異的な売上の回復を示している。
		スーパー（企画担当）	販売量の動き	・北海道胆振東部地震後の震災需要は旺盛であったものの、落ち着きを取り戻しつつあるなかで、不要不急の商材に対する需要が抑えられており、景況感が読みづらい。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・9月は北海道胆振東部地震の影響で、売上そのものは一時的に伸びたが、その後は商材の供給が滞り、品切れ状態が続いた。
		コンビニ（エリア担当）	それ以外	・北海道胆振東部地震の直後は買占めなどの行動により、一時的に売上、来客数が増加となったが、その後の動きが悪くなっている。全体では大きな回復とはなっておらず、悪いままで変わらない。
	家電量販店（店員）	来客数の動き	・9月前半の停電以降、来客数が伸びており、防災関連商材がよく売れた。その一方で、大物商材の動きが止まってしまった。	
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車、中古車共に受注量が一方向に回復に転じてこない。サービス部門の入庫量の減少も響き、収益の低下が懸念される。	
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型車が1つ2つ出たが、販売量の伸びが余りみられない。	
	自動車備品販売店（店長）	販売量の動き	・北海道胆振東部地震の影響で、携帯充電器、インバーターなどの非常用品の販売量が大きく伸びたが、中古車両やナビゲーションなどの高単価商材は売上が落ちた。	

	美容室（経営者）	販売量の動き	・売上はここ3か月ほぼ横ばいで推移している。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・北海道胆振東部地震による停電の影響が少なからずみられた。
	住宅販売会社（経営者）	それ以外	・9月6日未明に発生した北海道胆振東部地震により、9月は実質的な開店休業状態が1週間ほどあり、それが販売量にも影響した。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・北海道胆振東部地震の影響による停電で店舗が臨時休業となったり、発注していた商材の配送が遅れたり、営業に支障が出た。また、ふだんの生活に戻るのに時間が掛かったため、客足も減少し、売上に影響が出た。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・北海道胆振東部地震が客の心理に悪影響を与えている。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・9月初旬の北海道胆振東部地震による停電などにより、飲食店、生鮮食料品を扱う店舗、観光に携わる業種では大きな損害を受けている。月末になり、客足を取り戻してきているが、初旬の損害を持ち直すところまではいっておらず、例年と比較して景気はやや悪い。
	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・北海道胆振東部地震の影響で来客数、買上客数共に大きく前年を下回っている。市内のほとんどは日常に戻っているが、道外、海外からの観光客数はまだまだ回復しておらず、来客数の減少につながっている。この影響はしばらくの間続くとみられ、景気回復も観光客の回復を待つ形となる。
	スーパー（店長）	お客様の様子	・北海道胆振東部地震と停電による影響で、防災用品や必需品の需要は高まっているが、嗜好品やおしゃれ着など、すぐに必要な商材以外の購入を控えている様子がうかがえる。
	衣料品専門店（店長）	それ以外	・北海道胆振東部地震の影響が続いており、食料品などを買い求める客が多いため、当店の景気はやや悪くなっている。
	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・9月は5日に台風21号が来て、6日に北海道胆振東部地震が起き、店舗前の道路が損壊したことで、なかなか仕事にならない月であった。来客数の動きはもちらん鈍かったし、3か月前と比べて市場も落ち込んでおり、余り良い決算を迎えることができなかった。こうした事態では仕方のなかったことだが、震災が影響した1か月であった。
	その他専門店 [ガソリンスタンド]（経営者）	販売量の動き	・北海道胆振東部地震以降、販売量が鈍化している。
	その他専門店 [造花]（店長）	お客様の様子	・北海道胆振東部地震後、顧客の購買意欲が低下している。
	高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・北海道胆振東部地震後は食品の流通が潤沢でなかったこともあり、客が減った上、客単価も低く、景気はやや悪かった。9月は3連休が2回あり、当初からやや低めの目標設定ではあったが、月初の出足が良かっただけに経営的に大きな損失となった。知人が勤めるホテルでは、今月初は200名近い宿泊客があったが、地震直後は10名前後に落ち込み、5日が過ぎた頃から少し増え始め、以前の30～40%まで回復したとのことであった。また、中心部周辺の飲食店では地震後10日ほどで来客数が回復すると見込んでいたが、9月15日から始まった食のイベントの影響もあり、昼夜ともガラガラ状態が続いているとのことであった。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・北海道胆振東部地震があったことで客入りがとても悪い。10月になってから少しは良くなるとみられるが、9月は最悪であった。
	旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・9月6日に発生した北海道胆振東部地震被害及びその影響による全道停電のため、外国人観光客のキャンセルが多発している。電力が順調に復旧し、節電の数値目標を取りやめた現在、当地の観光は平常に戻っているが、9～10月の観光シーズンを直撃した災害の影響は大きく、回復には時間が掛かることになる。

	旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・風評被害を含めて、北海道胆振東部地震による被害が生じていることに加えて、基盤産業の農業において生育遅延がみられることから、悪い影響が出始めている。
	旅行代理店（従業員）	それ以外	・北海道胆振東部地震という災害が発生したため、娯楽にお金をかける余裕がなくなっている。
	タクシー運転手	販売量の動き	・観光客の入込が復調し、売上を押し上げたことで、前年比プラスに転じたが、安心のできない状況が続いている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・国内観光客も外国人観光客も、台風21号と北海道胆振東部地震の影響により、ほとんどの予約がキャンセルとなった。一方、少しではあるが、報道関係や保険関係の法人からの依頼で新たに仕事につながったものもある。
	タクシー運転手	来客数の動き	・北海道胆振東部地震による自粛ムードがあり、売上、乗降客数共に減少している。特に貸切バスにおいては前年から400万円弱の減収となっており、経営収支を圧迫している。
	タクシー運転手	お客様の様子	・9月6日の北海道胆振東部地震による停電の影響で予約などがキャンセルになったほか、地元客の動きも悪く、最悪の月であった。影響はいまだに残っており、大変な状況である。金額にして前月から500～800万円の落ち込みであり、今後も影響が長引きそうである。
	タクシー運転手	お客様の様子	・台風、北海道胆振東部地震、ブラックアウトが発生して以来、夜の客が極端に減ってきている。
	通信会社（社員）	販売量の動き	・買い控えということではないが、北海道胆振東部地震後から全体的に動きが鈍ってきている。さらに、新商材も不発で終わっており、活性化に至っていない。
	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・秋の新商材の引き合いが想定よりも少ない上、北海道胆振東部地震の影響で新商材以外への買換え需要も想定より落ち込んでいる。
×	商店街（代表者）	来客数の動き	・当地では北海道胆振東部地震による損害はなく、28時間程度の停電のみの被害であったが、その後の報道で市内の被害が甚大であるような内容となり、風評被害が続いている。9月は紅葉などの秋観光のトップシーズンであり、分母の大きい時期の落ち込みは回復しようがない。特に外国人観光客を含めた団体客のキャンセルは深刻で、地震後は前年比9割ダウンを記録している。
×	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・北海道胆振東部地震後、直前と比較して国内客の来客数が5割減った。外国人観光客については9割近く減少したとみられる。やはり観光客の減少が売上の悪さにつながっている。
×	百貨店（売場主任）	単価の動き	・9月6日の北海道胆振東部地震の影響がみられる。食品などの日用品は影響が少ないが、特選品や衣料品などの高額商材の動きが悪い。震災から3週間が過ぎ、日本人の来客数は徐々に戻ってきているが、外国人観光客の来客数は戻っておらず、売上への影響も少なからずみられる。
×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・北海道胆振東部地震以降、来客数が大幅に下がったまま推移している。
×	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・夏場の天候不順により農作物の収穫状況が悪いこと、北海道胆振東部地震により観光需要が減っていることなどから、客の買物の仕方などが落ち込んでいる。
×	衣料品専門店（店長）	それ以外	・北海道胆振東部地震の影響が大きく、顧客が衣料品に気を使う余裕がなくなっている。
×	高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・9月6日未明の北海道胆振東部地震とブラックアウトによりキャンセルが続出した。秋の観光シーズンのため、キャンセルに伴う金額も大きい。政府、行政の支援策が出てきたが、風評被害もあり、当分売上は期待できない。9月の売上は最終的に前年比35%減であった。
×	一般レストラン（スタッフ）	それ以外	・北海道胆振東部地震の被害により、22日間も営業ができず、この間の売上がばん回できないでいる。
×	観光型ホテル（経営者）	それ以外	・北海道胆振東部地震によるキャンセルで多額の損失が発生している。

	x	観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・ 9月には北海道胆振東部地震の影響で外国人観光客及び近郊のイベント関連での宿泊客が激減してしまった。国内の観光客、ビジネス客による宿泊は若干回復基調にあるが、補填にはほど遠い。
	x	タクシー運転手	来客数の動き	・ 9月6日早朝に起きた北海道胆振東部地震による会社への被害はなかったものの、地震後は人の動きが変わった。観光客のキャンセルに加えて、夜の人出も全くなり、タクシーの売上が激減している。
	x	観光名所(従業員)	来客数の動き	・ 9月27日時点の来客数は前年比62.7%と激減している。これは台風を始めとした悪天候に加えて、何よりも北海道胆振東部地震の影響により、観光客の減少が続いていることが影響している。
	x	美容室(経営者)	お客様の様子	・ 北海道胆振東部地震による停電の影響で、家庭では冷蔵庫内の商材破棄後の補充、家電品の買換え、住宅の破損修理など、予定外の出費が発生している。そのため、美容関連の支出は後回しになる傾向が顕著である。技術売上、関連商材の売上が共に通常月よりも20%程度減少している。
	x	その他サービスの動向を把握できる者[フェリー](従業員)	来客数の動き	・ 北海道胆振東部地震の影響による予約のキャンセルから、旅客、車両共に輸送量が激減した。
	x	住宅販売会社(経営者)	お客様の様子	・ 北海道胆振東部地震と停電の影響で、消費に対するムードが悪くなっており、建築関連におけるムードも悪くなっている。
企業 動向 関連 (北海道)	-	-	-	-
		建設業(役員)	受注量や販売量の動き	・ これまで工事進捗に遅れもなく、順調に出来高が積み上がっている。完工物件によっては工期短縮による利益の上積みも確保できている。完工高、利益共に年度計画を上回るペースで良好に推移している。
		コピーサービス業(従業員)	受注価格や販売価格の動き	・ 来年度に向けた購買スケジュールが少しずつ分かってきたが、設備投資を計画する企業が例年以上に多い。
		その他非製造業[鋼材卸売](従業員)	受注量や販売量の動き	・ 3か月前の予測と比較すると、9月の実績は北海道胆振東部地震の影響もあり、2.5%の未達となったが、ここ数か月、予測を上回る売上が続いていることから、景気はやや良くなっている。
		食料品製造業(従業員)	受注量や販売量の動き	・ ここ数か月と変わらない。前年と比べて売上の悪い状況が続いている。
		建設業(従業員)	それ以外	・ 本来であれば建築工事の最盛期となる時期であるが、度重なる台風の襲来や北海道胆振東部地震の発生で現場作業の工程に遅れが生じている。
		通信業(営業担当)	取引先の様子	・ 北海道胆振東部地震の影響を除いて景況感を語るができない状況にあるが、身の回りの景況感としては、地震による下押しは想定以上に極めて一時的なものであり、翌週には以前と同レベルに回復している。
		司法書士	取引先の様子	・ 土地や建物の売買による取引物件がやや減少傾向にあることから、景気は下向きである。
		その他サービス業[ソフトウェア開発](経営者)	取引先の様子	・ 弊社も取引先も人手不足のため、案件があっても、なかなか受注に結び付けることができない。作業を始めるタイミングや規模がうまくマッチングしない状況にある。
		その他サービス業[建設機械レンタル](総務担当)	受注量や販売量の動き	・ 9月に入り、当社の売上は前年比で10%近くアップしている。ただし、北海道胆振東部地震の影響により観光を中心に打撃を受けているため、今後の動向が気掛かりである。復旧需要が高まることになれば、業界においてはプラス要素となる。
		家具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・ 北海道胆振東部地震や停電の影響がまだ若干残っている。
		輸送業(支店長)	受注量や販売量の動き	・ 台風や北海道胆振東部地震の影響で物流が止まったことから、作業や輸送の工程が一層圧縮されており、人手不足、車両不足の影響が顕著になってきている。
	司法書士	取引先の様子	・ 例年と比較して不動産の売買、建物の新增改築工事の受注が少ない。	

	司法書士	取引先の様子	・台風による被害が回復せず、物価が上昇傾向にあるが、消費者の収入は増加していない。先行きへの不安感が高まっており、高額な不動産の取得をちゅうちょしている。実際に成約件数も伸びていない。また、9月に起きた北海道胆振東部地震により北海道経済には深刻な影響が生じており、建物の取得や新築などにも悪い影響が出ている。
	×	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き ・2018年9月の販売量が前年比マイナス7%となっているのに対して、3か月前の6月の販売量は前年比プラス4%であったことから、景気は悪くなっている。
	×	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き ・当社保有の観光施設において、外国人観光客のキャンセルが相次いだ。
	×	金融業（従業員）	取引先の様子 ・9月に発生した北海道胆振東部地震の影響で外国人観光客の宿泊キャンセルが大量発生するなど、道内経済をけん引してきた外国人観光客の消費が落ち込んでいる。そのほかの業種でも、停電による製品廃棄や節電要請による経済活動の停滞がみられる。地域経済に悪影響が発生しており、道内景気は3か月前と比べて悪くなっている。
	×	広告代理店（従業員）	取引先の様子 ・北海道胆振東部地震の影響により、景気は悪くなっている。
雇用 関連 (北海道)	-	-	-
	-	-	-
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・企業の求人ニーズは衰えることなく堅調に推移している。営業職の求人ニーズが旺盛なほか、業績回復に伴う管理系の人材やシステム開発の人材へのニーズも底堅い。また、景気回復に伴い社内の人材が転職で流出しており、その穴埋めのための求人も増えている。
	求人情報誌制作会社（編集者）	それ以外	・今回の北海道胆振東部地震で生じた全道的な停電では、企業の休業や交通網へのダメージなどで影響が大きく、震災以前の状態への回復が遅れている。これによって経済が低迷しないか気掛かりである。
	求人情報誌制作会社（編集者）	採用者数の動き	・求人ニーズの比較的高い傾向が続いているが、ここまで人手不足感の強い状況が続くと、求職者も求人情報を吟味して応募するようになってきている。このため、体力のない企業、個人経営の事業所を中心に廃業がみられるようになってきている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・月間有効求人数が3か月連続で前年を上回り、月間有効求職者数が6年10か月連続で前年を下回ったことから、有効求人倍率は1.08倍と前年を8年6か月連続で上回った。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・8月の有効求人倍率は1.14倍であり、前年を0.07ポイント上回り、引き続き高い水準で推移している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は2か月連続で減少したが、有効求人数はほぼ前年並みで推移している。
	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・北海道胆振東部地震の影響が道内観光産業にとって大きな痛手となっているが、道内企業の新卒採用活動は例年どおり活発であり、現在も本学には1日3～5社の採用担当者が来校している。企業の経営状態や次年度以降の売上などを考慮した上での採用活動であるため、それほど道内景気は悪化していないとみられる。
	求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	・北海道胆振東部地震と停電の影響で観光業界を始め、全業種で募集を手控える状況がみられる。
	×	求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き ・北海道胆振東部地震により、すっかり局面が変わってしまった。国内観光客、外国人観光客の激減と震災後の自粛ムードも重なり、観光関連業界や飲食業など、幅広い業種で集客が減っている。風評被害の影響も含めてしばらくは今と同様の状況が続くそうであり、それに伴い求人数も減ってきている。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子 ・8月末からの台風や北海道胆振東部地震とそれに伴う長期停電によって多くの企業で経済活動がストップしている。小売関連では商材の入荷がままならず、消費者の消費意欲が減退しており、観光関連では風評被害による観光客の入込数の減少がみられる。